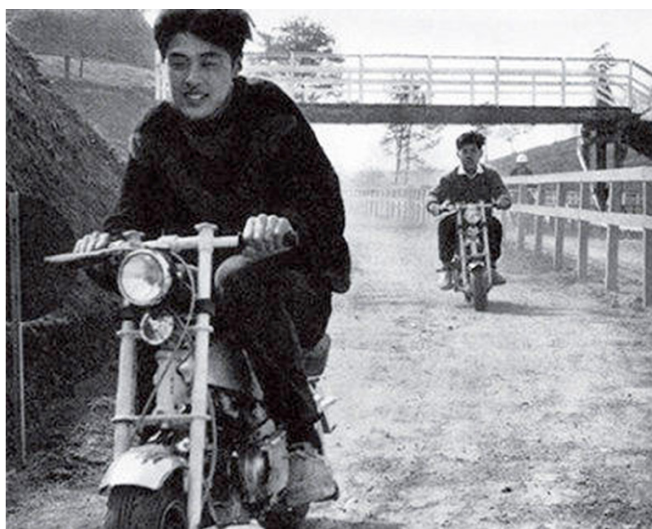


●誕生と歴史

レジャーバイク「モンキー」の成り立ちは「スーパーカブ」のコンパクトで堅牢、扱いやすい特性の小型で高性能な4ストローク50ccエンジンがあって初めて可能となりました。Hondaが1961年に建設したレジャー施設「多摩テック」の遊具に活用する事も視野に入れ1961年に誕生した小さな二輪車「モンキー・オートバイ」に採用されたのが始まりです。

そのレジャー施設は、Honda独自の思想に基づき「人の自由な移動と操る楽しさ」が持つ喜びや感動を通して、人と人が出会い、たがいに学びあうことで生まれる新しい文化や価値を根付かせてゆくことを使命として運営され、その考え方は、現在では鈴鹿サーキットやツインリンクもてぎの施設の中に継承されています。



■「モンキー・オートバイ」

※写真出展:1961年発行Honda社報(当時ヘルメットの着用義務はありませんでした)

「モンキー」は、その後、少数が欧米に輸出され、1967年から日本でも公道用市販車として発売を開始。1974年にはリアサスペンションを装備し、以降モデルチェンジを経ながら日本のお客様を中心に愛され続け、誕生50周年にあたる2017年まで生産されました。

■モンキー (50cc) の歴史



1961 Z100



1963 CZ100



1967 Z50M



2009~2017 Z50J



1978 Z50J-I



1974 Z50J



1969 Z50A